第3回神崎市地域公共交通会議・第3回神崎市地域公共交通活性化協議会

- 開催日時 令和7年3月28日（金）10時00分～11時00分
- 開催場所 神崎市役所 1階多目的会議室
- 出席者 [委員] 羽立一喜（区長会）、鶴田良治（区長会）、重松美文（神崎市民生児童委員協議会）、馬場崎安則（老人クラブ）、山崎唯之（神崎市商工会）、佐藤悦子（千代田町住民代表）、實松英治（脊振町住民代表）、小山淳也（有限会社ジョイックス交通）、山崎尚（西鉄バス佐賀株式会社（代理））、平井伸也（一般社団法人佐賀県バス・タクシー協会）、牟田嘉伊座（佐賀運輸支局）、中溝亨（神埼警察署（代理））、坂井歩美（佐賀県さが創生推進課）、中島勝利（市総務企画部長）

[オブザーバー] 吉野啓（吉野ヶ里観光タクシー有限公司）

[事務局] 音成栄志、小柳恒有、執行祐恒、大澤聖也

- 傍聴人 なし
- 会議次第
 - 1 開会
 - 2 報告
 - (1) 地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について
 - 3 議題
 - (1) 令和7年度事業計画（案）について
 - (2) 令和7年度歳入歳出予算（案）について
 - 4 その他
 - (1) 神崎市地域公共交通計画の策定について
 - 5 閉会
- ※ 上記の会議録の内容は別紙のとおり

会 議 録**1 開 会****2 報 告**

事務局 「地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価」について資料1に基づき報告。

地域内フィーダー系統確保維持国庫補助金事業の令和6年補助年度事業(R5.10～R6.9)実績について説明。市で立てた計画に対しては昨年度より達成状況の改善が見られたが、補助要件をもとに考えるとまだまだ利用が少ない。(補助要件の半分以下)

3 議 題

事務局 総委員19名中14名の出席により、交通会議設置要綱第6条第2項並びに協議会規定第8条第2項により本会議が成立していることを報告。
オブザーバー参加者を紹介。

交通会議設置要綱第5条第2項並びに協議会規定第5条第2項により神崎市総務企画部長が会長となる。

交通会議設置要綱第6条第1項並びに協議会規定第8条第1項により会長が議長となる。

- (1) 令和7年度事業計画(案)について
- (2) 令和7年度歳入歳出予算(案)について

議 長 議題(1)及び議題(2)については密接に関係することから、事務局より続けて説明の後、2議題まとめて質疑・承認と行いたい。

議 長 事務局に説明を求める。

事務局 資料2,3に基づき説明。
令和7年度は例年の事業に加えて、神崎市地域公共交通計画策定業務が追加される。

議 長 質疑を求める。

委 員 歳出予算見込と、歳出予算内訳表の値が一致していないように見える。

- 事務局 内訳表は予備費を除いた表記となっている。
- 議長 一致していたほうが見やすいので、次回より様式の修正をお願いします。
- その他質疑無し
- 議長 挙手により承認を求める。⇒承認される。

4 その他

- 事務局 資料4に基づき説明。
令和8年度以降を計画期間とする「神崎市地域公共交通計画」を策定する。それと併せて、現行の市内地域公共交通（巡回バス・通学バス・NORARU・ふれあいタクシー）についてもより利用しやすい形を目指し再編の協議を進めていく必要がある。委員の皆様にも協力・意見をお願いしたい。
取り急ぎ、事業者選定のための委員会を実施する予定としており、委員として選出された方には早い段階でお知らせをお送りする。
- 委員 脊振通学バスについて、一部系統は生徒数が0になる見込み。高齢者の使いやすい形に再編をお願いしたい。
- 事務局 通学支援としての位置づけや、ダム事業による集団移転の影響などを踏まえて検討していく。
- 委員 いろいろな交通手段を検討していただけるのはよいが、交通弱者にとってはバス停までの移動が困難な状態である。民間と公営で考え方が違う部分もあると思うが、利用が少ない部分についてはある程度集約して、より利便性が高い手法に切り替えていくべきだと思う。
- 事務局 利用状況や利用者の声について分析を進め、改善を目指します。
- 委員 パブリックコメントの実施方法について、より意見がもらえるようにやり方を検討することが必要。別の計画で全く意見がなかった。
- 事務局 ご指摘いただいた計画については募集期間などに問題があったと分析している。余裕を持った募集期間を含めて、周知などより多くの意見をいただくため検討・改善を続ける。
- 委員 事業者選定のための委員会について、選定方法・基準などの案はあるのか。

事務局 事務局で作成した案をもとに委員の皆様にもんでいただく予定。

委員 交通計画のアップデートについて補足。モデルアーキテクチャに基づく計画、モビリティ・データの利活用、機動的・横断的な実行体制となることが求められている。

委員 ライドシェアについて、過疎部の脊振にとって有用と考えられるので強力に推進してほしい。

事務局 利点・欠点含めて検討を続けたい。

5 閉 会